

営農ウィークリーNEWS

青空の下

JA京都中央 平成28年5月31日No.295 作成者 上田 由里子



ネギ移植機実演会を開催！



5月20日、淀支店管内の九条ねぎ栽培圃場にて、ネギ移植機実演会を開催しました。

九条ねぎの機械化省力栽培は、1993年にタマネギ移植機が開発されたことで、岡山県にある「みのる産業(株)」の協力のもと、地元生産農家と九条ねぎの移植に適用するよう、改良に取り組みました。

今回の実演会は、近年都市化が進み、栽培する圃場が分散傾向にあるため、より小型で高性能の移植機を選定するため、開催されました。

実演会当日は、生産者をはじめ、行政機関、全農京都、JA担当者ら21名が参加しました。

今回実演したのは、土壌環境に左右されず、安定した移植作業ができる、タマネギ移植機 OPK4。全自動の歩行型移植機で、府内各地で普及が進んでいます。



水稲苗の高温障害多発！！☀️ -TAC information () () () i!! TAC

水稲苗の高温障害による被害が多発しています。

5月初旬より、温度変化や多雨といった気象変動が激しい中、育苗シートの覆いすぎで風通しが悪くなり、発芽不良、苗の蒸れによる根痛み、生育不良といった被害が多く報告されています。

好天時は必ずサイドを開けて通風してください。

また、育苗シートで覆われている場合、風通しを良くし、適切な水管理をしましょう。

